

安全・安心② 電源投入時の動作



本書は、動画「安全・安心② 電源投入時の動作」に準じて、その内容を記載したものです。

■ 停電が起きた後、しばらくして、電気が復旧したときの調節計の動きを考える

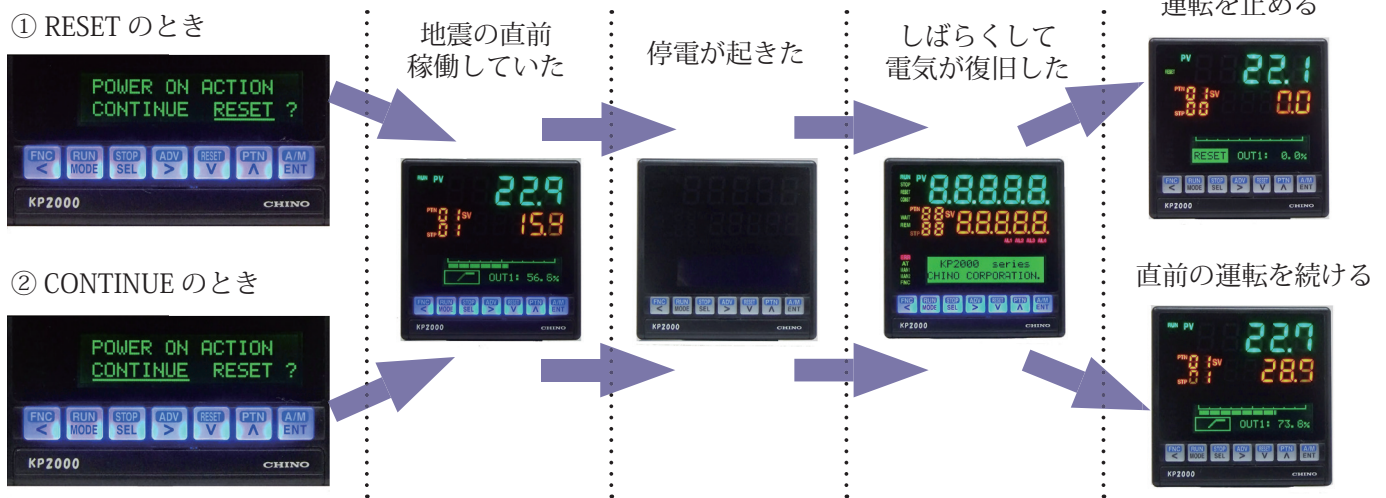
もし、今地震が起きて停電になった場合、「温度調節計」という観点では、どのようなことに気を付けたいでしょうか？

ここでは、一つの方法として「電源投入時の動作」を設定してみましょう。



■ 「電源投入時の動作」の概要

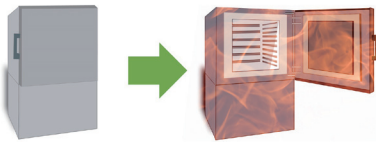
「電源投入時の動作」が① RESET のとき、② CONTINUE のときの違いを示します。



■ 「電源投入時の動作」を、A. 加熱系と B. 冷却系の2つのケースで考えてみる

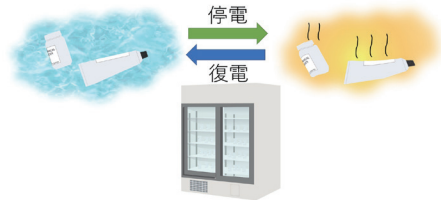
A. 加熱系のとき

電気炉のような加熱系では、地震により扉が開くリスクやその後、火災が起きるリスクを考えて、運転をとりやめる RESET が好ましいでしょう。



B. 冷却系のとき

冷蔵庫のような冷却系では、保存している物の品質を保つため、早急な復旧が望まれます。この場合、運転を続ける CONTINUE の方が好ましいでしょう。



この「電源投入時の動作」の設定をご活用いただき、天災による被害を最小限に抑えられます。
(ここに示したものは考え方の一例であり、お客様のご判断により最適な設定値をご検討の上、設定してください。)

■ 機種による名称の違い

DB2000 「電源投入時動作」 READY / CONTINUE
 DB600 「電源 ON 時動作」 READY / CONTINUE
 DP1000G 「復電時動作」 RESET / CONTINUE

■ 「電源投入時の動作」が設定可能な機種

DB600, DB2000, KP2000, DP1000G, DP2000G

■ 「電源投入時の動作」が固定の機種

DB1000, KP1000, LTA シリーズ: CONTINUE